

広野町男女共同参画プラン 検討委員に委嘱状を交付



↑ 第2次広野町男女共同参画プラン策定メンバーのみなさん

3月6日、広野町役場全員協議会室において、広野町男女共同参画プラン検討委員の委嘱状交付式を行いました。委員会のメンバーは10人で、委員長に金子晴美さん、副委員長に猪狩順子さんがそれぞれ選出されました。

広野町男女共同参画プランは平成16年2月に策定され、町は当プランのもと男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進してきましたが、計画期間が終了したことから、必要な見直しを図り、「第2次広野町男女共同参画プラン」として改定するため、当委員会を立ち上げたものです。新しいプランは平成29年度から5年間の期間として策定します。

2年間お世話になりました 行政区長会議



↑ 行政区長会議の様子

3月24日、広野町公民館で年度末の行政区長会議を開催し、行政区長より事前通告のあった要望や質問事項に回答するとともに、今後の課題等について協議しました。

現在の行政区長の任期については、平成29年3月31日をもって満了となることから、会議の冒頭、遠藤町長がこれまでの取り組みに対する感謝の言葉を述べ、行政区長を労いました。行政区長の皆さま、2年間大変お世話になりました。

広野小児童が 第49回手紙作文コンクールに入賞



↑ 広野郵便局長から表彰状と記念品を受ける鯨岡琥宇くん

2月23日、広野小学校校長室において、第49回手紙作文コンクールの表彰式が執り行われました。

この表彰は、日本郵便株式会社が手紙文化の振興を図るとともに、文章表現によるコミュニケーションを通じて心豊かな子どもたちを育むことを主な目的として、幼児、小学生、中学生、高校生を対象に手紙作文コンクールを開催しており、全国から寄せられた127,984点の応募の中から371点が入賞しました。

今回、広野小学校から1年2組の鯨岡琥宇くんが絵手紙部門で銅賞を受賞し、福羽由佳子校長立ち会いのもと広野郵便局の猪狩謙一局長より表彰状と記念品が授与されました。

全国大会出場の 平工業高校剣道部を激励



↑ 浅野教育長から激励金を受けた白川裕貴さん(写真左から6番目)

3月7日、浅野教育長は平工業高校を訪れ、福島県代表として第26回全国高等学校剣道選抜大会に出場する同校剣道部を激励しました。

同校剣道部には、広野町出身の白川裕貴さん(2年)が在籍しており、副将としてチームの大きな柱となっています。

浅野教育長は、白川さんに激励金を手渡すとともに、同席した主将の坂本海斗さんらレギュラーメンバーに激励の言葉をかけました。

激励の席には、鈴木康隆平工業高校校長と同校剣道部顧問の渡邊信土木科科長が同席しました。

東日本大震災追悼献花を実施



↑ 慰霊碑への献花に訪れた関係者

3月11日、東日本大震災から丸6年となり、震災で尊い命を亡くされた方や未だ行方不明のままとなっている方に対し、ひろの防災緑地にて追悼の献花を行いました。また、発災時刻である午後2時46分には広野町内に防災行政無線でサイレンを鳴らし、これに合わせて1分間の黙とうを捧げました。

献花には遠藤町長や黒田議会議長、津波により犠牲となられた方のご家族や町民など約100人が参列し、哀悼の意を表しました。

日本子ども映画コンクールで 広野町長賞を受賞



↑ 映画コンクールの関係者全員で記念撮影

2月18日、第1回日本子ども映画コンクール表彰式が東京池袋のサンシャインシティ噴水広場で行われ、全国の小中学生から応募のあった117作品の中から、広野中学校生徒が制作した「Hironoみかんメモリー」が広野町長賞を受賞し、表彰式で遠藤町長より広野中学生へ賞状が手渡されました。

このコンクールは毎日映画社の主催により開催されたもので、広野町と東京都豊島区が特別協賛しています。

広野中学校では昨年度から映像教育に取り組んでおり、撮影や編集などで日本映画大学に協力していただいておりますが、同大学の佐藤忠男学長がコンクールの審査委員長を務めていることから、広野町長賞を設けたものです。

「広野みらいオフィス」を 緊急避難先として使用



↑ 協定書を交わした清水建設(株)東北支店と広野町の関係者

3月6日、清水建設(株)東北支店と広野町は、「津波時における一時避難施設としての使用に関する協定」を締結しました。

これは、広野駅東側に立地している6階建てビル「広野みらいオフィス」を、津波が発生または発生する恐れがある場合の緊急避難先として使用するために、同施設を管理運営する清水建設(株)東北支店と広野町の間で、必要事項を定めた協定を締結したものです。

協定締結式では、清水建設(株)東北支店の串暁雄副支店長と遠藤町長が協定書に署名し、堅い握手を交わしました。また、遠藤町長は協定締結にあたり、「当協定の締結により、町民や広野町を訪れた人々の命を守る重要な施設として使用させていただけることになり感謝します。」と挨拶しました。

東日本大震災復興イベント 「ふるさと復興 再生への祈り」を開催



↑ 復興イベントの様子

3月11日、東日本大震災復興イベント「ふるさと復興 再生への祈り」と題した復興コンサートを、広野町中央体育館にて開催しました。コンサートには約200人が来場し、オペラ、尺八、ピアノ、仏教音楽「声明(しょうみょう)」が奏でる伝統的な響きと、これらを組み合わせた異色のコラボレーションが生み出す新たな響きを楽しみました。最後には、「童謡のまち」にちなんで童謡のメドレーが奏でられ、「故郷」を出演者と来場者が一緒に歌って締めくくられました。